

**平成28年度
市民活動支援事業**

成果報告書

はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助することにより、市民活動を促進するものであり、これまでに延べ105団体、そして、平成28年度は7団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組まれた。

この「平成28年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものである。

〈 参 考 〉 平成28年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択
団 体 数	11 団体	11 団体 (7)
NPO 法 人	5 団体	5 団体 (3)
その他の団体	6 団体	6 団体 (4)
事 業 数	11 事業	11 事業 (7)

※()は平成28年度の事業実施団体数

1 団体 1 事業は採択後辞退、3 団体 3 事業は年度途中での事業中止

【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2(0)
まちづくり	2	2(2)
学術・文化・芸術・スポーツ	5	5(4)
子どもの健全育成	2	2(1)
合 計	11	11(7)

※()は平成28年度の事業実施団体数

1 団体 1 事業は採択後辞退、3 団体 3 事業は年度途中での事業中止

目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会	1～ 2
2 NPO 法人金剛寺招魂社保存会	3～ 4
3 キリシマツツジ保存会	5～ 6
4 牧園町麓地区街づくり促進会	7～ 8
5 特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブ霧島	9～10
6 特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな	11～12
7 エコミュージアム福山	13～14

＜ 参 考 ＞ 各団体の補助額等について

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	史跡・文化財・景観モデルロード推進事業	130,057 円	35,000 円
2	史跡金剛寺 秋物語/竹燈籠祭 2016	1,001,769 円	450,000 円
3	キリシマツツジ保存事業	446,286 円	223,000 円
4	牧園町麓地区農育事業	735,927 円	165,000 円
5	“おせ” “ちご” 交流健康づくり ハンドボール教室事業	443,029 円	218,000 円
6	はやとの風で行こう！霧島のスケッチツアー	574,923 円	327,000 円
7	福山の歴史・町並みガイドブックと紙芝居づくり	381,433 円	247,000 円
合 計		3,713,424 円	1,665,000 円

史跡・文化財・景観モデルロード推進事業

<史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会>

事業費：130,057円 市補助金：35,000円

目的（背景・課題）

・古代からの地域に残る史跡、文化財等を保護して、その景観を次世代に伝える。

・貴重な文化財等の広報及び見学会を催すことで、広域から人が集まり、地域の活性化の一助とする。

・霧島山麓の豊かな自然の美しい景観、史跡文化財等をアピールすることで新たな観光資源を創造する。

事業内容

- ・史跡・文化財の広報・見学会の開催
- ・道路清掃
- ・文化財の清掃
- ・史跡及びその周辺の樹木伐採整備

事業の成果

補助事業の成果として、牧園町宿窪田及び三体堂地区の史跡・文化財を記録した冊子「牧園の史跡と文化財を見て歩こう」を刊行することができた。冊子は、牧園小学校、牧園中学校、牧園高校、三体小学校、霧島市市立図書館、湧水町立図書館に計14冊を寄贈した。学校への寄贈の様子は南日本新聞に記載して頂き、地元の歴史、自然の奥深さを広くアピールすることができた。また、霧島市観光協会、霧島温泉駅地域振興会、始良西部探求塾、安楽温泉振興会等と連携し、各種の事業を実施することができたことは、私達の活動が地域に認知をされてきたものと確信している。

自己評価

- 1 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
活動の拡大を図るには若い会員の入会が必要と考えている。それには、高校、大学との連携、市当局との協力関係の構築にもっと努力すべきである。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
講師を招聘して、調査した史跡の専門的な説明会を2回開催する計画であったが、実行できなかった。29年度では、講師を依頼し了承も頂いているので、実行が可能である。
- 4 今後の展望
独自の活動を継続・拡大することにより、牧園地区の活性化に役立つグループに成長できるようにしたい。
- 5 その他
今連携している他のグループとの連携をもっと密にして、活動範囲の拡大を図るべきである。

牧園の遺産 一冊に

史跡や神社、人物…48項目解説



冊子を贈る寺嶋正次(右)と事務局の川原優子(左)

霧島市の住民でつくる「史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会」(寺嶋正次会長)が、地域に伝わるさまざまな遺産を調べ、冊子にまとめた「牧園の遺産と文化財を歩きつづ」と題し、碑や神社、城跡、学校跡のほか地蔵や温泉も含めた48項目を分かりやすく解説している。

2014年に発足した実行委員は現在15人で活動する。地域遺産を継承していくと説明資料や地図を作り、史跡巡りイベントを開くなど「歩きつづ」を企画に取り組み。

実行委員によると、牧園地区は古事記や日本書紀にからむほか、風津氏が覇権を争い、西暦6世紀で激戦が繰り広げられた地。多くの陣地跡が残る。現地に調査し、舞土誌や歴史書で調べながら、まず14年11月に第1版となる「牧園の史跡と文化財」をまとめた。

15年8月に改訂第2版を出し、今年1月、48項目からなる第3版が完成した。歴史・文化遺産に加え、ゆかりの人物や温泉、石倉、墓園跡なども取り上げ、散策用地図も盛り込んだ。主な項目をカバードきた地元の牧園三休の両小学校と牧園中学校、霧島高校の4校に、計4冊を初めて寄贈した。

「古里を知ることが地域おこしの基本で、精神的な土地になる。冊子で地区民の喜ぶや幸せが広がれば地域活性化につながるはず」と事務局(左)。冊子作りはまず自分たちが

安楽温泉の歴史満喫 市民団体が初ツアー

霧島市市民団体が初ツアー

約60年前前に発見された、島半島の温泉地。記述が豊富な霧島市史跡・景観モデルロード「安楽温泉」の歴史を学ぶツアーが、安楽温泉歴史研究会(会長 寺嶋正次)の主催で、2月7日(日)に開催された。ツアーは、約15時開始。霧島市史跡・景観モデルロード「安楽温泉」の歴史を学ぶツアーが、安楽温泉歴史研究会(会長 寺嶋正次)の主催で、2月7日(日)に開催された。



安楽温泉の歴史を学ぶ参加者

霧島市史跡・文化財・景観モデルロード「安楽温泉」の歴史を学ぶツアーが、安楽温泉歴史研究会(会長 寺嶋正次)の主催で、2月7日(日)に開催された。ツアーは、約15時開始。霧島市史跡・景観モデルロード「安楽温泉」の歴史を学ぶツアーが、安楽温泉歴史研究会(会長 寺嶋正次)の主催で、2月7日(日)に開催された。

午後には石垣の九州電力妙見発電所や、天降川と妙見温泉の繋がりも学んだ。第一工科大学の4年村田恭祐さんは「自然の偉大さや安楽温泉の歴史の深さを感じた。また訪れたい」と話した。

「地域が自主的に立ち上がり仕掛けるのが大切」と寺嶋さん。委員会は今後も、地域の宝を活用したツアーに取り組み。(藤崎優子)

記者の目

霧島総局・藤崎優子

世界ジオパークに輝き出した霧島ジオパークだが、「世界に推薦できる水準に達していない」との理由で先月、国内推薦が見送られた。国連教育科学文化機関(ユネスコ)の正式事業となり、ハードルが上がったことも否めない。

その1週間前、和気神社から安楽・妙見温泉郷を巡り4キロを歩くイベントがあり、取材した。古里の宝を掘り起こす活動に取り組み牧園町の市民団体と、安楽温泉振興会が協力して開いた。

神社から安楽に下る途中、天降川渓谷の絶景に目を奪われた。870年前に発見された安楽温泉は、霧津の段椀が200年前に夫婦で湯治したという。こんなと湧き出

価値あるジオパーク活動

る源泉を見て、自然の恵みと歴史の深さを実感した。坂本龍馬も150年前に訪れたという天降川の滝は迫力満点だった。道で通るだけでは気付かない魅力を知り、歴史も学ぶことができた。

ジオパークとは「大地の公園」との意味だが、教育や観光への活用も求められ、住民主体の地域づくり活動もされる。イベントの当事者らが意識していたかどうかは分からないが、ジオパークの活動に厚みがない。世界への挑戦に異論はない。ただ、こうした市民の取り組みは何より価値があるし、誇りとすべきものだ。霧島ジオパークのさらなる浸透を期待し、報道する側として光を当てていきたい。

2016-6-25

団体情報

<団体名> 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会
 <代表者> 寺嶋 正次
 <設立日> 平成26年2月27日
 <会員数> 16人
 <主な活動> 景観モデルロード沿道や地域の空き地の美化活動など
 <連絡先> 所在地 〒899-6507 霧島市牧園町宿程田 642 番地 4 TEL 090-6776-2458

字を頼りもつた一文、持つ人も出てきて、後だろ」と聞かして、字にして残せば興味を、々調べる手助けとなる。(藤崎優子)

史跡金剛寺 秋物語 / 竹燈籠祭 2016

<NPO 法人 金剛寺招魂社保存会>

事業費：1,001,769 円 市補助金：450,000 円

目的 (背景・課題)

金剛寺は廃仏毀釈で廃止された戊辰戦役、西南戦争、日清、日露戦争、そして大東亜戦争に出征した人々の慰霊石碑や第16代島津義久公の墓地、真応上人廊の市指定文化財が散在する場所でありながら、まだまだ知名度も低く上人廊の参拝者も年間800名程度(記帳数)であり、保存会のNPO法人化に伴い情報発信の事業を検討してきて、その結果昨年竹燈籠祭を開催したところである。

初めての試みながら、色々な方面から反響がありました。地域グループと共に連帯感のあふれた地域創りを目指し、歴史を語り知る地域に繋げる為に歴史教室など、関連する事業にも取り組む。

事業内容

実行委員会

- 5月28日：第1回実行委員会
 - ・今年度の基本計画協議・承認
 - ・6月の作業計画
- 6月25日：第2回実行委員会
 - ・7月の作業計画
 - ・6月の進捗状況・報告調整
- 7月30日：第3回実行委員会
 - ・8月の作業計画
 - ・7月の進捗状況・報告調整
- 8月27日：第4回実行委員会
 - ・9月の作業計画
 - ・8月の進捗状況・報告調整
- 9月24日：第5回実行委員会
 - ・10月の作業計画

- ・9月の進捗状況・報告調整
- 10月8日：第6回実行委員会
 - ・直前の作業計画
 - ・スタッフ名簿確認・作業確認
- 11月26日：第7回実行委員会
 - ・事業報告・決算、今年度の反省

イベント開催日

- 1日目：10月15日 16:00～
 - ・ローソク配置 3,000個
 - ・雨天で式典のみ
- 2日目：10月16日 17:00～
 - ・ローソク入替え 3,000個
 - ・イベント一部変更で予定通り実施

事業の成果

- ①竹燈籠祭を地域6団体の実行委員会で開催し、幼稚園、小学校、中学校、高校や自治会に加入された大学校の寮など地域の若い年代層の参加や、実行委員会の所属団体加入者への支援の要請を行い、協力体制を整え実施することができた。
- ②史跡金剛寺敷地管理や石碑等の管理、真応上人廊の管理を実施し、また竹燈籠祭では夏場と祭前に敷地と周辺の清掃と燈籠材料として竹の切出しをして周辺草木の管理と裏山の安全見守りを実施できた。
- ③夏休みに子どもと保護者、一般を対象に竹細工や竹燈籠、ペット燈籠作りの体験教室を開催し、作品の当日展示を実施できた。
- ④地域だけでなく広く広報に努め、南日本聞・ケーブルテレビ・観光協会ネット・始良霧島ネット・自治会回覧・チラシ・情報

誌・FM霧島などの媒体を活用し、多くの反響を得ることができた。

自己評価

- 事業効果**
 期待していた以上の効果が上がった。
- 改善すべき課題**
 - ①会場内の配置と竹燈籠のデザインの研究
 - ②会場における飲食物の販売
 - ③雨天の場合の対策・対応
- 予算執行**
 多少の変更があった。
 燈籠の本数が予定を超えて、ローソク、電球など不足した。
- 今後の展望**
 実行委員会組織の強化で支援者(ボランティア) 100名をお願いし若い力を加えた企画・運営に変えていきたい。
- その他**
 特になし。

竹燈籠祭り 2016

史跡金剛寺 / 竹あかり 清島もご縁ください

● 開催日時 平成28年10月15日(土)・16日(日)
 15日 16:00~21:00 16日 17:00~21:00

● 会場 霧島市国分中央二丁目城山公園登り口 金剛寺跡地

◇ 主催者 **竹燈籠祭り実行委員会**
福徳団地 国分東地区自治公民館・国分西地区自治公民館・童中劇団女
 西上シニア会・国分地区連盟会・NPO金剛寺招魂社保存会

◇ 支援者 **霧島市・霧島市教育委員会**
※この事業は霧島市市民活動支援事業の補助金をいただいて開催するものです。

■ 絆を引き続き竹燈籠祭を開催します。ご家族皆様で、ご近所お誘い合わせのうえご来場ください

団体情報

<団体名> NPO 法人金剛寺招魂社保存会
 <代表者> 肥後 敏男
 <設立日> 平成 24年 12月 28日
 <会員数> 50人
 <主な活動>
 金剛寺招魂碑及び真応上人廊の保存に関する事業
 青少年健全育成に関する事業
 六月燈等の祭典の開催

<連絡先>
 所在地 〒899-4322
 霧島市国分中央一丁目 24番 24号
 TEL 0995-45-8318

●会場のご案内

会場は国分中央二丁目城山公園入口のクワガタ市営住宅が大通りです。近道の方はできる限り徒歩でお願いします。お車は専用駐車場が用意されています。

●駐車場のご案内

駐車場は主にクワガタ市営住宅の裏手にあります。お車には必ず駐車券をもらってください。お車には必ず駐車券をもらってください。

〇〇 お祭りプログラムと同時開催のイベント 〇〇

一日目 10月15日(土) 16時スタート

1. オープニングセレモニー

N.O	演技時間	種 目	演 技 者
1	16:00 ~ 16:30	演奏会	国分西地区自治公民館
2	16:40 ~ 16:55	国分児童クラブ太鼓	国分児童クラブ

2. 史跡金剛寺 / 竹燈籠祭り 2016 開会行事

N.O	演技時間	種 目	演 技 者
1	17:00 ~ 18:20	金管バンド	国分小学校児童管バンド
2	18:30 ~ 18:50	ストリートダンス	Shonan Friends ストリートダンスグループ
3	19:00 ~ 19:20	ハーモニカ演奏	志賀まはろーニーフレンズ
4	19:30 ~ 19:50	フラダンス	Hilary Hilary O Han Hawaii
5	20:00 ~ 20:20	軍楽	生田連隊軍楽隊
6	20:30 ~ 20:50	義経昇龍	享存 第一節

21:10 一日終了のあいさつ

二日目 10月16日(日) 17時スタート

1. 史跡金剛寺 / 竹燈籠祭り 2016 二日目 開会行事

N.O	演技時間	種 目	演 技 者
1	18:00 ~ 18:50	ベネチア・ゴシック舞	国分児童クラブダンス
2	19:00 ~ 19:20	健康体操	霧島市健康推進委員会
3	19:30 ~ 19:50	フラダンス	Isa mami Isia Isia
4	20:00 ~ 20:20	合唱	国分児童合唱団
5	20:30 ~ 20:50	青年の節	日林神社楽団 藤丸 親三

21:00 竹燈籠祭り終了のあいさつ

お問い合わせ先 NPO法人金剛寺招魂社保存会 TEL 000-4476-8563

キリシマツツジ保存事業

<キリシマツツジ保存会>

事業費：446,286円 市補助金：223,000円

目的（背景・課題）

明治のころの霧島連山には、山を覆いつくすほどのキリシマツツジが群生していたそうであるが、今は全く見られない。しかし、霧島連山から持ち出されたツツジがほかの地では何百年も成育し続け、大切に守り育てられている。どうしてこうなったのか、歴史的背景も踏まえ、我々はキリシマツツジの本家として、その再生の活動を起こさなければならない。そのため、この事業で、古木の調査・保存と、これからの増殖・啓蒙活動を行うことを主な目的とする。

事業内容

- ・平成28年4月3日
キリシマツツジ展示（鹿児島空港ロビー）
- ・平成28年4月17日
キリシマツツジ生態調査（清水～川原地区）
- ・平成28年5月21日
キリシマツツジ保存会総会
- ・平成28年7月23日
環境調査の事前準備
- ・平成28年7月24日
地域の環境研修
- ・平成28年8月15日
キリシマツツジ植栽場所打合せ（霧島神宮、鹿児島空港）
- ・平成28年10月14日
霧島神宮及び鹿児島空港への植栽用キリシマツツジ購入
- ・平成28年10月30日
霧島神宮に植栽

- ・平成28年11月18日
鹿児島空港バス乗り場前に大株3本植栽
- ・平成29年2月8日
キリシマツツジ購入作業（展示用、植栽用、販売用）

事業の成果

- ①霧島神宮や鹿児島空港など多くの人が目にする場所に植栽できたので、絶滅が危惧されているキリシマツツジの認知度を高める効果が期待される。
- ②地域に現存するキリシマツツジを数株確認することができた。それがキリシマツツジとは知らない持ち主がほとんどで、説明をするとう感動され、今後大切に手入れを行い保存していく契機となっている。
- ③挿し木用の母株を導入できたので、今後挿し木による増殖活動が可能となった。

自己評価

- 1 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
今後は、キリシマツツジ苗の生産に力を入れ、市内でのキリシマツツジ苗の増産に努めたい。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
- 4 今後の展望
改善すべき課題の解決に努めていく。
- 5 その他
溝辺空港や霧島神宮など多くの人目につくところに植栽することができた。



団体情報

<団体名>キリシマツツジ保存会
 <代表者>蔵元 悟
 <設立日>平成6年12月1日
 <会員数>25人
 <主な活動>
 霧島市に生息しているキリシマツツジを保護し、キリシマツツジを植生し、及び霧島市の環境を調査し霧島市民が心豊かに暮らせることに貢献する。
 <連絡先>
 所在地 〒899-4352
 霧島市国分向花 168 番地 3
 TEL 080-5260-8173

牧園町麓地区農育事業

<牧園町麓地区街づくり促進会>

事業費：735,927円 市補助金：165,000円

目的（背景・課題）

現代社会は、老若男女の交流が少なく、また、人類が生活する過程で大切な食生活にお世話にならなければ生きていけない。これを農育体験学習で培い、健康な心身を得て、老人クラブや地域民の方々と交流型体験学習を通じて道徳教育、食の安全の大切さや自給自足精神を学ぶ農育循環伝承と明るいふるさとづくりを目的とする。また、耕作放棄地解消と地域振興を図る。

事業内容

- ① 作付前の準備作業
日時 4月～5月中旬
場所 愛の手農園
対象者 当会員、農育交流会賛同者
内容 土壌改良、畑耕作等
- ② 農育文化交流会（サツマイモ植付）
日時 5月14日
場所 愛の手農園
対象者 牧園小学校児童、当会員、老人クラブ、農育交流会賛同者（計125名）
内容 サツマイモ植付
- ③ 農作物管理作業
日時 5月下旬～11月中旬
場所 愛の手農園
対象者 当会員、農育交流会賛同者
内容 鳥獣害防護柵設置、風雨対策、成育管理作業、雑草取り
- ④ 収穫祭
日時 11月12日
場所 愛の手農園
対象者 牧園小学校児童、認定こども園高千

穂園児、当会員、老人クラブ、農育交流会賛同者、地域住民（計156人）

内容 サツマイモの収穫祭

⑤ 菜の花植付

日時 11月下旬

場所 愛の手農園

対象者 当会員、老人クラブ、農育交流会賛同者

内容 菜の花植付作業、農園整備、耕運作業

事業の成果

- ①耕作放棄地を解消できた。
- ②子どもたちへの体験学習を通じて農の伝承ができた。
- ③高齢者の方々の健康と生きがいつくりになった。
- ④豊かな街、環境づくりで田園の美化活動ができた。
- ⑤地域ぐるみでまちおこし活動に役立った。

平成28年度

耕作放棄農地に愛の手を!! 《牧園町農育文化交流会》



牧園町麓地区農育文化交流会の活動で沿道に春のおとずれを告げる菜の花畑、道行く人々に「ふるさとの感動と潤いを」地元老人クラブや地域民に菜の花畑であらぎの宴、春らんまん!! 景観美を提供。

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
耕作放棄地が当該地周辺にも多いので活動面積を増やしたい。参加者の高齢化で困っているの、市の農業委員会等の協力が欲しい。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
耕作事業は苗代管理費、材料費など必要経費を削られず、一方参加者は年金生活者がほとんどで寄付金が予定通り集まらなかった。
- 4 今後の展望
主旨は耕作放棄地解消と子どもたちの体験学習が目的であり、また、社会教育の一環事業であるため、市と協力していきたい。
- 5 その他
今年度は県が色々な点で注目、協力していただき県知事賞を頂いた。



大盛況
高齢者、児童
大交流会



今日
でかいぞ
長いぞ!



一つずつ
丁寧に……

団体情報

〈団体名〉 牧園麓地区街づくり促進会

〈代表者〉 和田 新藏

〈設立日〉 昭和 59 年 9 月 23 日

〈会員数〉 12 人

〈主な活動内容〉

耕作放棄地を開墾し、地元小学生と住民によるサツマイモ等の植付と収穫、土壌改良、土質調査、研修会の開催

〈連絡先〉

所在地 〒899-6507

霧島市牧園町宿窪田 2113 番地 1

TEL 090-7357-7127

平成28年度 **大収穫祭** 芋掘り

鹿児島県知事表彰受賞地

耕作放棄地に愛の手を **歴史探訪** **環境河川水辺浄化活動**

平成28年度
高齢者を中心とした
地域貢献
活動報告

牧園町麓地区街づくり促進会

“おせ” “ちご” 交流健康づくり ハンドボール教室事業

＜特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ霧島＞

事業費：443,029円 市補助金：218,000円

目的（背景・課題）

子どもたちの体力低下とコミュニケーション能力の低下が懸念されている。野外で遊ぶ事が少ない子どもたちに初心者でも取り組みやすく健康増進にもつながるよう簡易に工夫したハンドボールに興じることで、「力を合わせる一共同」と「コミュニケーション能力」を育み、スポーツの楽しさを伝えるとともに高齢者との交流を通じてノーマライゼーションの心を育てたい。また、高齢者の生きがいづくりに寄与したい。

事業内容

おせ” “ちご” 交流健康づくりハンドボール教室
【横川地区】

日時：7月9日9:00～15:00

場所：横川体育館

対象者：小学生、高齢者 定員30名

おせ” “ちご” 交流健康づくりハンドボール教室
【国分地区】

日時：10月29日9:00～15:00

場所：国分体育館

対象者：小学生、高齢者、定員30名

おせ” “ちご” 交流健康づくりハンドボール教室
【蒲生地区】

日時：3月20日9:00～15:00

場所：蒲生体育館

対象者：小学生、高齢者 定員30名

（教室内容）

9:00 スタッフ打合せ

10:00 参加者集合、指導者講師による運動と健康増進の講和、競技指導、ボール運動や健康体操、右脳体操

休憩 交流会

13:30 危険防止のための準備運動、ミニゲーム

15:00 試合終了、ストレッチ、肩もみタイム、片付け

事業の成果

今年2年目の開催となり、昨年参加いただいた方や新たに新規で参加された方もおられ、年代を越え高齢者と子どもたちと楽しく過ごす事ができた。小学生が高齢者へのいたわりの気持ちを持ち、優しく声をかける光景がみられコミュニケーションが増えた事はとても良かったと思う。日頃、ゆっくり体を動かす事が少ない方にとっても、これからの健康増進の大切さや、これから更に健康づくりの意識向上に繋がっていくと思う。

霧島市市民活動支援事業
★異世代交流“おせ”“ちご”混合 健康ハンドボール教室



★小学生のお友達や、おじいちゃん、おばあちゃん 心と体を元気にしませんか♪

日程：2016年7月9日 場所：横川体育館 時間：9:00～15:00	日程：2016年10月29日 場所：国分体育館 時間：9:00～15:00	日程：2016年03月20日 場所：蒲生体育館 時間：9:00～15:00
---	---	---

【応募要項】	【指導者】	【開催イベント】
◆対象：小学生、高齢者 ◇募集定員：各回30名	田中 さおり 松林 江史子	・健康体操 ・ボール運動 ・ミニゲーム

◆申し込み・問い合わせ先 主催：特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ霧島
TEL：090-8353-9082 編集 すみえ

自己評価

- 1 事業効果
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
開催場所の検討をして高齢者施設への訪問も視野に入れた活動を実施できれば、参加者も確保できるのではないかと思う。
- 3 予算執行
ほぼ予定通り執行できた。
- 4 今後の展望
高齢者の健康づくりを継続してやれる内容の検討を行い、日々の生活でもやれる運動を提供できるように更に改善し、取り組んで行きたいと思う。
- 5 その他
特になし。



ハンドボール教室の様子



団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ霧島

<代表者> 篠原 すみえ

<設立日> 平成 27 年 1 月 30 日

<会員数> 11 人

<主な活動>

健康増進・青少年健全育成の為のハンドボール教室

高齢者の健康増進・介護予防の為のハンドボール教室

<連絡先>

所在地 〒899-5106

霧島市隼人町内山田四丁目 26 番 16 号

TEL 0995-43-7005

はやとの風で行こう！霧島のスケッチツアー

＜特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな＞

事業費：574,923円 市補助金：327,000円

目的（背景・課題）

霧島市には「すべての人が安心して暮らし、たすけあい支えあいまち霧島」との基本理念があり、発達しょうがいを持つ人、発達に不安を抱える子どもの支援を行う拠点施設として、平成24年に発達支援センターを設立するなど、発達しょうがいに対する支援も拡充してきている。当事業所でも、発達しょうがいを持つ人と、地域の人と関わる機会が少ない現状がある。

発達にしょうがい・不安を抱える子どもたちは、芸術・技巧面での優れた能力や可能性を持ちながら、人とのコミュニケーションを取ることの苦手さや手の不器用さがあるといった課題があり、その能力を見出すまでに時間を要したり、消極的になり発揮する可能性を逃してしまうなどの難しさが見られることから、このような子どもたちが、様々な人たちと共通の目的を持ちながら、交流し、芸術面をさらに伸ばしていける事業の必要性があると考え、豊かな自然と歴史を持つ霧島市を再発見・体験・表現しながら、楽しい経験を共有する機会を設ける。

事業内容

第1回スケッチツアー

日時 7月27日

時間 9:45～12:20

対象者 霧島市内の小学生

内容 特急「はやとの風」を利用して、隼人駅から嘉例川駅までの旅をして、電車や霧島市の風景、情景をスケッチする。

第2回スケッチツアー

日時 11月27日

時間 10:00～12:00

対象者 霧島市内の小学生

内容 隼人町の小浜海岸にて、海岸の風景や貝殻などに触れながら、絵画・製作を行う。

絵画教室

日時 1月29日、3月12日

場所 霧島子ども発達支援センター 実樹

対象者 霧島市内の児童・学童

内容 日頃、絵の具に触れ合う事の少ない子や、一枚の画用紙にじっくりと絵を描く事の少ない子など、絵画指導者の下、発達しょうがいを持つ方と市内の小学生が交流を持ちながら活動を行う。

展示会

日時 12月16日～12月26日

場所 国分山形屋1階ホール

内容 スケッチツアーにて作成した絵の展示を行い、市民や市外の方も観覧する機会を設ける。

展示



事業の成果

- ①霧島市の自然や歴史を感じながらスケッチすることで、持っている芸術性等を更に引き出し、表現する喜びを体験することができた。
- ②スケッチを通し、情景を共有する楽しみ、描き上げたときの達成感などの気持ちの共有など対人関係の成功体験を積むことができた。
- ③スケッチツアーにより、普段できない体験を通じてコミュニケーションを図る機会を作ることができた。

霧島市の自然や歴史を感じながらスケッチ



完成したスケッチの展示



自己評価

- 1 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
地域との交流なども考えると、子どもたち同士の交流会などを作る機会もあれば良かった。
- 3 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
- 4 今後の展望
参加者や保護者からもスケッチツアーの継続を希望される声が多く聞かれたことから、本事業における支援をいただきながら、活動の機会を提案していきたい。
- 5 その他
発達しょうがいを持つ方と市内の小学生がスケッチを通して、積極的に交流できる機会を作ることができた。

団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな
<代表者> 前原 利彦
<設立日> 平成 21 年 4 月 2 日
<会員数> 11 人
<主な活動>
児童発達支援・放課後等デイサービス事業
<連絡先>
所在地 〒899-4305
霧島市国分郡田 238 番地 1
TEL 0995-73-4195

福山の歴史・町並みガイドブックと紙芝居づくり

<エコミュージアム福山>

事業費：381,433円 市補助金：247,000円

目的（背景・課題）

福山町下場地域は、歴史的にも自然環境としても魅力と価値にあふれた地域である。ところが、急激な人口減少により地域の過疎化が進むことが予想される。エコミュージアム福山は、地域の魅力と特性を学び多くの人々と共有するために様々な活動を行ってきた。だが、これらは総じて地域外の人々の動きで、地域内の住民の動きは必ずしも活発ではない。そこで、地域住民が地域に愛着と誇りを持ちつつ、これからの地域をどうつくるかについて交流し学び合う機会として、住民や子どもも参加して楽しくできる企画を行う。

事業内容

平成28年4月～9月（月1回・全6回）

- ・「福山歴史・町並みガイドブック」原稿の検討・作成
- ・「福山の宝」紙芝居作成のための素案づくり

平成28年9月～平成29年2月

- ・「福山歴史・町並みガイドブック」印刷入稿校正

平成28年11月～平成29年1月

- ・みかん狩りイベント時などでのガイドブックを利用した福山まち歩き案内の実施

平成29年2月

- ・紙芝居演出の練習など
- ・福ふくコンサートで紙芝居のお披露目

事業の成果

- ①「福山の福山住民による福山の学びと発信」を通して、住民が地域に誇りと愛着をもち、主体的にまちづくりに関わった。
- ②紙芝居を作成したことで、子どもたちが地域のことに関心と理解を示した。
- ③地域遺産・資源を活用するまちづくりの提案を実践的に提示できた。
- ④福山が地元の魅力を引き出し元気になることによって、他の限界集落のモデルとなれたように感じる。
- ⑤市内外の人々に福山の魅力を広く知ってもらい、人口交流を盛んにできた。

エコミュージアム福山

福ふくコンサート

～今年は「福山の宝・紙芝居」もお楽しみに～

地域の魅力と歴史を伝えるコンサートです。
初春のイベント、旧田中家別邸の庭園を背景に、美しい景色の中、
地元の芸術家による福山の歴史や文化の紹介、歌やダンス、
コンサート、紙芝居、福山の歴史博物館、福山歴史資料館、福山歴史資料館

Concert Program

日時 2017年2月26日(日) 13時～14時30分頃
入場無料
会場 旧田中家別邸
出演者 福山小学校児童の合唱と紙芝居
ゴッタン演奏(地元弦楽器) / 三線演奏(琉球弦楽器)
志摩館大学サウンズの演奏とコーラス / 紙芝居

後援：福山市教育委員会(予定)
主催：エコミュージアム福山 連絡先：090-9728-1760 (滝江)

自己評価

- 1 事業効果
期待した以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題
なかった。
- 3 予算執行
多少の変更があった。
- 4 今後の展望
今後も、地域住民が地域に愛着を持ち、互いに交流し学び合える機会を設けていく。
- 5 その他
特になし。



古里の宝物 紹介



福山小児童 名所・名物紙芝居に

霧島市の福山小学校で、6年生8人が、山懐きたい「福山の郷」を紹介する紙芝居づくりに取り組んでいる。水戸の角、学校近くの田中家別邸（指定文化財）で開かれる「福ふくコンサート」で披露する。

来年2月お披露目

港町として繁栄し、り団体「福山エコミューザ」の歴史や文化を伝える「福山」の歴史を、福山小学校の児童が紙芝居で紹介する。紙芝居の制作は、田中家別邸（指定文化財）で開かれる「福ふくコンサート」で披露する。

9月21日は終極に、若手、5年生4人と6年生4人の児童が、写真を手に、田中家別邸とテラスの水くみ物（福山、福山）の紙芝居を書き上げた。田中家別邸が、霧島市にあり、6年生児童は、石は「福山」を、よく強くなる。紙芝居が、楽しい。発表に向けて頑張りだした。福山エコミューザの紙芝居制作は、田中家別邸（指定文化財）で開かれる「福ふくコンサート」で披露する。

団体情報

<団体名>エコミュージアム福山

<代表者>池江 勝子

<設立日>平成22年5月31日

<会員数>12人

<主な活動>

平成23年7月「福ふくコンサート」実施

平成24年福山まるごと博物館マップ作成

平成25年福山黒酢の里マップ作成

依頼に応じて福山町歩きガイドを実施

<連絡先>

所在地 〒899-4352

霧島市国分向花14

TEL 090-9728-1760

平成 28 年度
霧島市市民活動支援事業成果報告書

平成 29 年 11 月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号
霧島市役所 市民環境部 市民活動推進課

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-46-0566

E-mail simi-katudo@city-kirishima.jp